

ミスミソウ(三角草)

科名:キンポウゲ科  
花期:2~3月



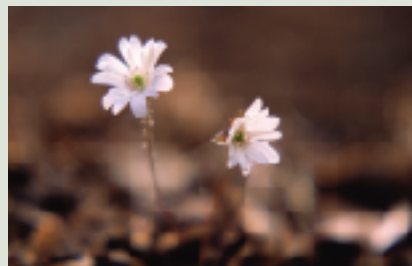
やまのくに山の花

早春、まだ冬の気配がする里山の斜面にいち早く咲く花が、ミスミソウです。落ち葉の中から白い顔を出した姿はとてもかわいらしく、三角定規を三つ組み合わせたような葉からミスミソウと名前がついたようです。雪が残っている早春に咲くので雪割草ともよばれています。

山梨では暖かな年であれば二月の終わりころから咲き、三月下旬ころまで見られると思います。高さは10~15センチほどの多年草で、花は直径1~1.5センチ。まだ暖かい家の中にいたいこの時期ですが、春を見つけないでかけてはいかがでしょうか。



湿った斜面に咲くミスミソウ



このかわいらしい姿が、春の訪れをいち早く教えてくれる

協力 日本高山植物保護協会/宮田義之

衣類選び

素材は…?

合成繊維(アクリル・ポリエステルなど)が静電気を起こしやすいのは、繊維自体が電気の逃げ道である水分をほとんど吸わず、体に電気をためてしまうからです。これに対し、ウールなどの天然繊維は、合成繊維に比べ、かなり水分を吸収するため、静電気をためずに速やかに空気中に放電します。

着合わせのポイント

できれば同じ素材のものを重ね着するのがベスト。例えばフリース(ポリエステル)の上着を着るとき、ウールのセーターを中に着ると静電気は強くなり、アクリル素材の服を中に着ると静電気は弱くなります。

こんな時の防止策!

車から降りるとき

車から降りる時は、体を動かす前に車のボディや金属部分に触り、そのまま降りる。

ドアに触れるとき

- ・玄関のドアノブなど金属に触る前に、財布、手帳、キーホルダーなどを触ろうとする金属にあてる。
- ・湿らせたハンカチで握るのも効果的。
- ・ドアノブにカバーをする。

干した毛布を取り込むとき

干した毛布を取り込むときはベランダに木のスノコを置き、スリッパを脱いでそのの上に乗る。ただし、ベランダの床が静電気を通さない素材(プラスチック、ゴムなど)の場合は、針金でスノコと柵などの金属部分をつなぐ。

髪の毛をとかすとき

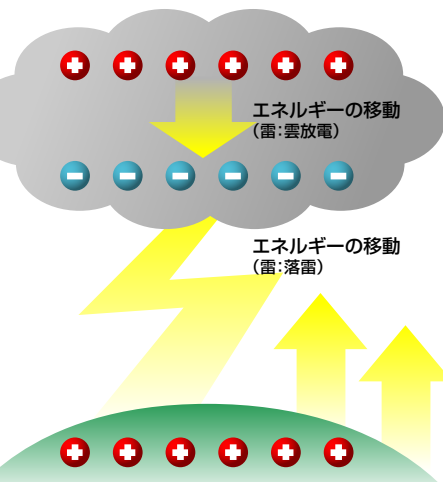
- ・裸足でブラッシングすると放電しやすい。
- ・霧吹きや水で髪を湿らせてからブラッシング。
- ・一気にとかさず、毛先から少しずつとかす。

椅子から立ち上がる時

テーブルや自分が座っている椅子に手を掛けた状態で立つ。

雷も静電気!

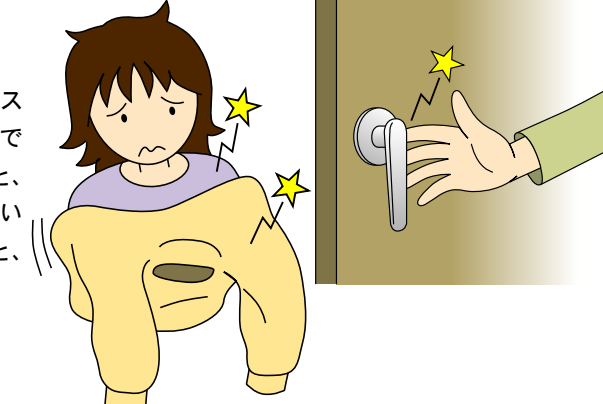
雲の中の水の粒が、上昇気流で吹き上げられる時、互いに摩擦しあったり、粒がちぎれたりします。この時に、プラスの電気を持った粒とマイナスの電気を持った粒に分かれます。そして、プラスとマイナスの電気をもった粒は、雲の上と下にそれぞれに分かれてかたまり、プラスのかたまりとマイナスのかたまりの間で放電が起こり雷となるのです。また、雲と地表の間では、雲の下部のマイナスの電気と地表のプラスの電気が引き合って限界に達した時、通常では電気が流れない空気中を電気が無理やり流れ落雷が起こります。雷は雲と雲、雲と地表との間で起こるのです。



<情報協力: 県立科学館>

静電気は、なぜ起きる?

すべてのものは、とても小さな原子という粒からできていて、原子はプラスとマイナスの両方の電気をもっています。普段は、プラスとマイナス、それぞれ同じ数を持つことで全体では電気は中性となり安定しています。ところが、こすったりして強い力を加えると、マイナスの電気はぎ取られ、全体としてプラスになります。この状態を「帯電状態」といいます。帯電状態の時、電気の通りやすい金属などに触れると、電気的に中性になると、金属から帯電した物体へマイナスの電気が流れ込みます。これが静電気です。



静電気に種類ってあるの?

**摩擦帯電** 二つの物体が、こすり合わされることで起きる静電気  
例えば…  
●下敷きを頭にこすりつけて髪の毛をたたせるのがこの現象です。  
●ふかふかのカーペットをゴム靴ですり足で歩くと起こる現象です。  
●作業場では、輸送中のコンベアラインが静電気発生原因です。

**剥離帯電** 重ねられた二つの物体を引きはがすときに発生する静電気  
例えば…  
●キズ付き防止用の保護シートをはがすときや、糊付きシートの剥離紙(裏紙)をはがすときに起こるのはこの現象です。  
●車から降りる時、ドアに触ってパチッとくるのは、それまで座っていた座席と人の衣類が剥離帯電を起こし、人体に帯電した静電気が一気に指先から放出したためです。

静電気対策のポイントは3つ!

- 1 静電気を起こさない!
- 2 静電気をためない!
- 3 静電気を逃がす!

静電気が起きやすい環境は、夏より冬!

静電気は、環境に左右されます。一般的に気温が25度以下、湿度が20%以下になると起きやすくなります。空気中の水分は電気の逃げ道となりますが、冬は空気が乾燥しているため、電気の逃げ道がなくなり静電気としてじっとしているのです。逆に空気が湿っていると電気が水分へ逃げていくため静電気が起こりにくくなります。

静電気を起こすもの!

単体では電気を通さない物質でも、こすり合わせると静電気が起きます。物をこすり合わせたときにプラス・マイナスどちらの電気を持ちやすいか順番に並べてみました。下の表の中で位置が遠いもの同士ほど大きな静電気が起きやすく、隣り合ったものでは静電気が起こりにくいのです。

| プラス(+) |        |      |    | マイナス(-) |   |   |             |
|--------|--------|------|----|---------|---|---|-------------|
| 毛皮     | (ウール)毛 | ナイロン | 人体 | 綿       | 絹 | 木 | ゴム          |
|        |        |      |    |         |   |   | ろう          |
|        |        |      |    |         |   |   | (ポリエチレン)バケツ |

まずは、室内環境から…  
湿度を上げ、電気の逃げ道をつくる。(ただし、湿度を上げすぎると結露の原因となるので50%程度がよい。)

- 加湿器を使う
- 観葉植物を置く
- 部屋に洗濯物を干す